

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ゲームサイエンス学科	夜・通信	510 時間	240 時間	
	CG スペシャリスト学科	夜・通信	900 時間	240 時間	
	高度情報学科	夜・通信	1710 時間	240 時間	
	サイバーセキュリティ学科	夜・通信	1890 時間	320 時間	
	情報処理科	夜・通信	990 時間	160 時間	
	情報キャリアプロ学科	夜・通信	1200 時間	160 時間	
	Web デザイン学科	夜・通信	1230 時間	160 時間	
	CAD 学科	夜・通信	1410 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2021年6月 4日～2023 年6月3日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員	2021年6月 4日～2023 年6月3日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人 河合塾学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。 ・授業計画の作成・公表時期 当校は前期、後期の2学期制であり、授業計画の作成については、各学科長・主任を中心に、カリキュラム内容や教員を選定し、前期授業計画(シラバス)については、4月1日までに学生専用サイトならびに教務課にて閲覧ファイルを設置。後期授業計画(シラバス)については、同様に10月1日までに学生専用サイトならびに教務課にて閲覧ファイルを設置。 <p>※授業計画の公表について、以下の欄に記載すること</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程 2階教務課カウンターにて閲覧可能</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況（各学生の学修成果に基づき、あらかじめ認定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している） <p>学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。</p> <p>なお、単位認定に関し、学則上の規定として「企業実習や入社前の研修などで、本校の教育に相当する水準を有すると認めたものに関して、総授業時間数の2分の1を超えない範囲で授業科目の履修とみなす」との特則的な記述があり、この適用を受ける例もある。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績は科目ごとにA（優）、B（良）、C（可）、F（不可）の4段階で評価する他、各期と学年ごとにGPA（Grade Point Average）として評価し、成績表に付記する。</p> <p>このGPAは各種成績優秀学生の表彰や奨学金採用など様々な判断に用いられる。</p> <p>GPAの計算方法は、各科目の成績評価のそれぞれにグレードポイントをつけ、それに各単位数をかけて足した合計点を総単位数で割ってスコア化するものである。</p> <p>※計算式…（成績評価数値×成績評価取得数×科目単位数）の合計÷総単位数＝GPA</p> <p>全てA評価の場合、GPAは11になる。 （A＝11， B＝7， C＝4， F＝0）</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧、ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業年次の2月中旬に成績ならびに卒業判定会議を実施。 判定会議出席者は、校長、教務チーフ、各学科主任、各担任で構成し、学科毎に実施をし、承認している。 卒業要件については、当年次30単位以上を取得して、卒業判定会議で承認されることとしている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧、ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人河合塾学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		94人	91人	185人
内 訳	第Ⅰ区分	55人	46人	
	第Ⅱ区分	31人	37人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				-人
合計（年間）				187人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	13人	-人	-人
計	13人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	-人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-人	-人	-人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	トライデントコンピュータ専門学校
設置者名	学校法人河合塾学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
財産目録	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
事業報告書	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲームサイエンス学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間/単位	1200 単位時間/単位	1770 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2970 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		248人	0人	5人	3人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的

<p>授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。</p> <p>1. 進級条件 当年次に900時間(30単位)以上取得して、進級判定会議で承認されること。</p> <p>2. 卒業条件 当年次に900時間(30単位)以上取得して、卒業判定会議で承認されること。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム: 社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム: 担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
101人 (100%)	0人 (0%)	94人 (93.1%)	7人 (6.9%)
(主な就職、業界等) (株)ホーゲット、(株)スタジオワンオアエイト、(株)トーセ (株)インティ・クリエイツ、(株)ステアシステム、(株)シンソフィア、(株)モノクロ			
(就職指導内容) キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
(主な学修成果(資格・検定等)) ゲームクリエイター甲子園2021 総合賞2位、企画賞1位、 GAIRA ペラチャレ2021 最多得票賞、企業賞			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

273 人	12 人	4.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、病気療養、経済的事情など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CGスペシャリスト 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間/単位	1170 単位時間 /単位	1800 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2970 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105 人		148 人	1 人	4 人	2 人	6 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の4段階で表示し、F は不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
3. 進級条件
当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、進級判定会議で承認されること。
4. 卒業条件
当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
(概要) 教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム: 社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム: 担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、

目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100%)	0人 (0%)	41人 (87.2%)	6人 (12.8%)
(主な就職、業界等) (株)カプコン、(株)ディンプス、(株)グラフィニカ、(株)CygamesPictures、モンスターズエッグ(株)、(株)セガ、(株)グッド・フィール、(株)フロム・ソフトウェア			
(就職指導内容) キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
(主な学修成果(資格・検定等))			
ASIAGRAPH 2021年度		【第三部門 学生アニメーション作品公募部門】	優秀賞
ASIAGRAPH 2021年度		【第三部門 学生アニメーション作品公募部門】	入選
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
149人	10人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、病気療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	サイバーセキュリティ学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間/単位	750 単位時間 /単位	3210 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	3960 単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		116人	0人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
5. 進級条件 当年次に900時間（30単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。
6. 卒業条件 当年次に900時間（30単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習PDCAを実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）東海ソフト(株)、Sky(株)、(株)システムリサーチ、キムラユニティ(株)、(株)テスク、サイバーコム(株)、富士ソフト(株)、ディーピーティー(株)			
（就職指導内容）キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等） （コンテスト） Sky株式会社 TERMINAL 2021 3位、 第5回専門学校HTML5作品アワード グランプリ、企業賞、入選 第18回みたかビジネスプランコンテスト アイデア部門 奨励賞			

e-ZUKA スマートフォンアプリコンテスト 2021 企業賞 第9回 学生スマートフォンアプリコンテスト 奨励賞 (資格) 基本情報技術者試験, 応用情報技術者試験, 情報処理安全確保支援士試験, 情報セキュリティマネジメント試験, ITパスポート試験 (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
112 人	2 人	1.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	高度情報学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間/単位	660 単位時間 /単位	2310 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2970 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105 人		168 人	3 人	4 人	3 人	7 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の4段階で表示し、F は不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要) 授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。</p> <p>7. 進級条件 当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、進級判定会議で承認されること。</p> <p>8. 卒業条件 当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、卒業判定会議で承認されること。</p> <p>学修支援等</p> <p>(概要) 教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム: 社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム: 担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
73 人 (100%)	0 人 (0%)	73 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) サイバーコム(株)、(株)システナ、(株)L I X I L (株)菱友システムズ、(株)日本プレースメントセンター、トーテックアメニティ(株)、旭情報サービス(株)			
(就職指導内容) キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) (コンテスト) にいがたデジコングランプリ 2021 アプリの部 グランプリ (デジコン会長賞), 入選 第9回 学生スマートフォンアプリコンテスト 奨励賞、企業賞 第5回専門学校 HTML5 作品アワード 技術賞, 企業賞, 入選 2 作品 彩の国 さいたま ICT コンテスト 2021 優秀賞 米百俵デジタルコンテスト 2021 持続可能性賞 (資格) 基本情報技術者試験, 応用情報技術者試験, 情報セキュリティマネジメント試験, I T パスポート試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
189 人	5 人	2.6%

(中途退学の主な理由) 進路変更、病気療養
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報処理学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	600 単位時間 /単位	1380 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1980 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		57人	1人	3人	3人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の4段階で表示し、F は不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
9. 進級条件
当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、進級判定会議で承認されること。
10. 卒業条件
当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
(概要) 教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム: 社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム: 担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナ

ビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	25人 (92.6%)	2人 (7.4%)
（主な就職、業界等）(株)システムリサーチ、ディーピーティール、 (株)ジャパンテクニカルソフトウェア、アバナード(株)、セントラルエンジニアリング(株)			
（就職指導内容）キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験， I Tパスポート試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	3人	5.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報キャリアプロ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	600 単位時間 /単位	1380 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	夜		1980 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		5人	0人	3人	3人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価はA・B・C・Fの4段階で表示し、Fは不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。 11. 進級条件 当年次に900時間（30単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。 12. 卒業条件 当年次に900時間（30単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）(株)アスパーク、(株)中電シーティーアイ			
（就職指導内容）キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等） 基本情報技術者試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	1 人	20%
(中途退学の主な理由) 病気療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	Web デザイン学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
		1800 単位時間/単位	講義 420 単位時間 /単位	演習 1560 単位時間 /単位	実習 単位時間 /単位	実験 単位時間 /単位	実技 単位時間 /単位
2 年	昼		1980 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70 人	40 人	0 人	3 人	1 人	4 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の4段階で表示し、F は不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
13. 進級条件
当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、進級判定会議で承認されること。
14. 卒業条件
当年次に 900 時間 (30 単位) 以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
(概要) 教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム: 社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム: 担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、

目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習P D C Aを実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (%)	20人 (90.9%)	2人 (9.1%)
（主な就職、業界等）(株)アルタ、(株)ツリービレッジ、(株)ソーゴー、(株)中日本開発、(株)エーピーテック、キューコーポレーション(株)、(株)I T r e a t			
（就職指導内容）キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第16回若年者ものづくり競技大会 敢闘賞 第5回専門学校HTML5作品アワード 入選 2作品			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	3人	6.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CAD学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	450 単位時間 /単位	1530 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1980 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		38人	0人	3人	1人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）トライデント全校共通の教育理念のもと策定された本校の教育目標、教育方針に基づき、全学科、学科主任・常勤講師を中心に、業界ニーズを反映したカリキュラムの立案・編成に取り組んでいる。まずカリキュラム編成の大綱と具体的な方針を決定したあと、各授業担当講師と協議し成案を得たうえで、授業計画に落とし具体的授業展開に至るプロセスとしている。なお、職業実践専門課程認可学科においては、教育課程編成委員会における企業・団体等の意見を取り入れ、実務観点を尊重したカリキュラム編成と授業計画への反映を重視している。また、学科・専攻の共通科目については学科間で協議し、履修内容を調整し編成に組み込んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）学生成績評価に関しては、教務内で評価・認定の基準・指針を制定し、厳格に実施している。科目ごとに定期試験結果・授業中における小テスト結果・授業態度・出席状況・提出課題により総合的に評価している。評価は A・B・C・F の4段階で表示し、F は不可を意味する。成績結果は、学生へ年2回通知している。
卒業・進級の認定基準
（概要）授業に出席していれば、進級・卒業できるという訳ではない。提出課題、単位認定にふさわしい授業態度などの評価で単位が認定され、進級・卒業の条件を満たすことができる。
15. 進級条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、進級判定会議で承認されること。
16. 卒業条件 当年次に 900 時間（30 単位）以上取得して、卒業判定会議で承認されること。
学修支援等
（概要）教育システムとして、①キャリアステップ・カリキュラム：社会人としての基本を学ぶ「ベーシックプログラム」、現場のニーズに応える能力を習得する「専門科目/基礎講座」、実践的な授業でビジネスの現場を体感する「専門科目/応用・実践講座」、②個別サポートシステム：担任と相談しながら目標の設定や学習計画を立て、目標設定を目指す「パーソナル・プランニング」、進捗状況を確認しながらステップアップできるように「個別学習サポート」、担任・講師・スタッフが希望業界までナビゲートする「個別就職・資格取得サポート」の2つを柱に学習 P D C A を実行している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	0 人 (0%)	22 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）(株) L I X I L、JFE エンジニアリング(株)、トヨタ自動車(株) 東明エンジニアリング(株)、住理工情報システム(株)、三菱マテリアル(株)			
（就職指導内容）キャリアデザイン、就職ガイダンス、企業研究、就職研究、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等））2次元 CAD 利用技術者試験 2 級、2次元 CAD 利用技術者試験 1 級（機械）、3次元 CAD 利用技術者準 1 級			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	1 人	2.2%
(中途退学の主な理由) 学力不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、学費援助制度の導入、臨床心理士カウンセリング		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等 (2021 年度生以前)

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲームサイエンス学科	200,000 円	830,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
CG スペシャリスト学科	200,000 円	830,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
Web デザイン学科	200,000 円	830,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
CAD 学科	200,000 円	830,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
サイバーセキュリティ学科	200,000 円	900,000 円	350,000 円	施設・設備費・実習費
高度情報学科	200,000 円	780,000 円	330,000 円	施設・設備費・実習費
情報処理科	200,000 円	780,000 円	330,000 円	施設・設備費・実習費
情報キャリアプロ学科	200,000 円	780,000 円	330,000 円	施設・設備費・実習費
修学支援 (任意記載事項)				

a) 「生徒納付金」等 (2022 年度生)

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲームサイエンス学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費
CG スペシャリスト学科	200,000 円	830,000 円	450,000 円	施設・設備費・実習費
Web デザイン学科	200,000 円	830,000 円	430,000 円	施設・設備費・実習費
CAD 学科	200,000 円	830,000 円	430,000 円	施設・設備費・実習費
サイバーセキュリティ学科	200,000 円	900,000 円	410,000 円	施設・設備費・実習費
高度情報学科	200,000 円	780,000 円	370,000 円	施設・設備費・実習費
情報処理科	200,000 円	780,000 円	350,000 円	施設・設備費・実習費
情報キャリアプロ学科	200,000 円	780,000 円	350,000 円	施設・設備費・実習費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開 https://computer.trident.ac.jp/introduction/school_more/ 学校公開資料・職業実践専門課程		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
校長直属の委員会として学校関係者評価委員会を設置し、「学校自己点検・評価報告書」および「授業科目等の概要」を中心に学校に対する外部評価を実施する。評価の活用方法として委員よりいただいた意見を基に校内で会議を行い具体的な改善施策を検討し実行することとしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
鈴木 貴宏 株式会社ハ・ン・ド	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
鈴木 敬 株式会社ブリアップパートナーズ	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
酒井 章次 株式会社ジェイテック	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
篠原 たかこ 公益財団法人画像情報教育振興協会	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	業界・職能団体
高野 正義 NPO 法人キャリアアップセンター	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	業界・職能団体
内田 武司 愛知県春日井商業高等学校	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	高校教諭
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。